

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GS米国成長株集中投資ファンド」は、このたび、毎月決算コースにつきましては、第122期～第127期の決算、年4回決算コースにつきましては、第42期～第43期の決算、年2回決算コースにつきましては、第16期の決算を行いました。本ファンドは、米国を中心とした企業の株式に厳選投資することにより、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

毎月決算コース

第127期末 (2024年2月13日)		第122期～第127期	
基準価額	12,021円	騰落率	20.5%
純資産総額	55,743百万円	分配金合計	1,200円

年4回決算コース

第43期末 (2024年2月13日)		第42期～第43期	
基準価額	11,624円	騰落率	20.3%
純資産総額	12,495百万円	分配金合計	1,030円

年2回決算コース

第16期末 (2024年2月13日)		第16期	
基準価額	29,013円	騰落率	20.9%
純資産総額	6,188百万円	分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付できる旨が定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

GS米国成長株集中投資ファンド

毎月決算コース
年4回決算コース
年2回決算コース
追加型投信／海外／株式

毎月決算コース

第122期 (決算日2023年9月11日)
第123期 (決算日2023年10月10日)
第124期 (決算日2023年11月10日)
第125期 (決算日2023年12月11日)
第126期 (決算日2024年1月10日)
第127期 (決算日2024年2月13日)

年4回決算コース

第42期 (決算日2023年11月10日)
第43期 (決算日2024年2月13日)

年2回決算コース

第16期 (決算日2024年2月13日)

作成対象期間：2023年8月11日～2024年2月13日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先：03-6437-6000 (代表)

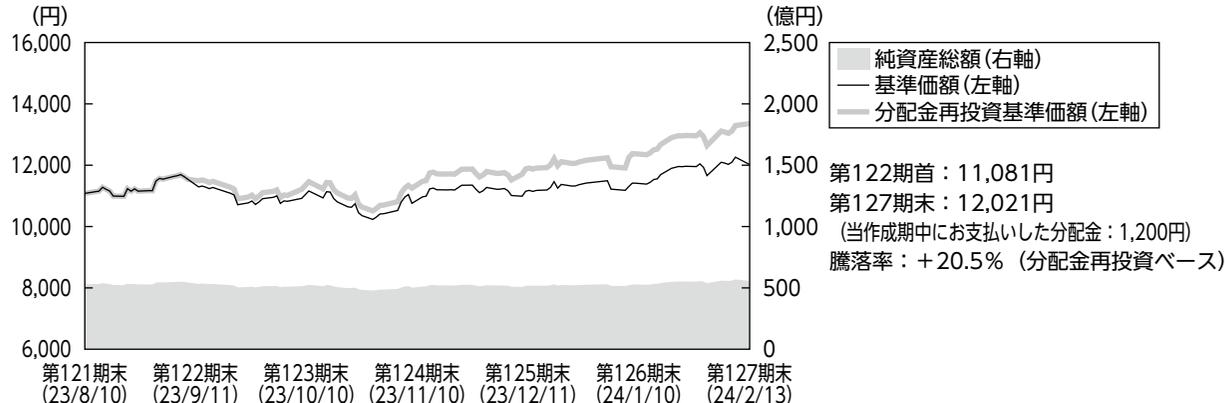
受付時間：営業日の午前9時～午後5時

www.gsam.co.jp

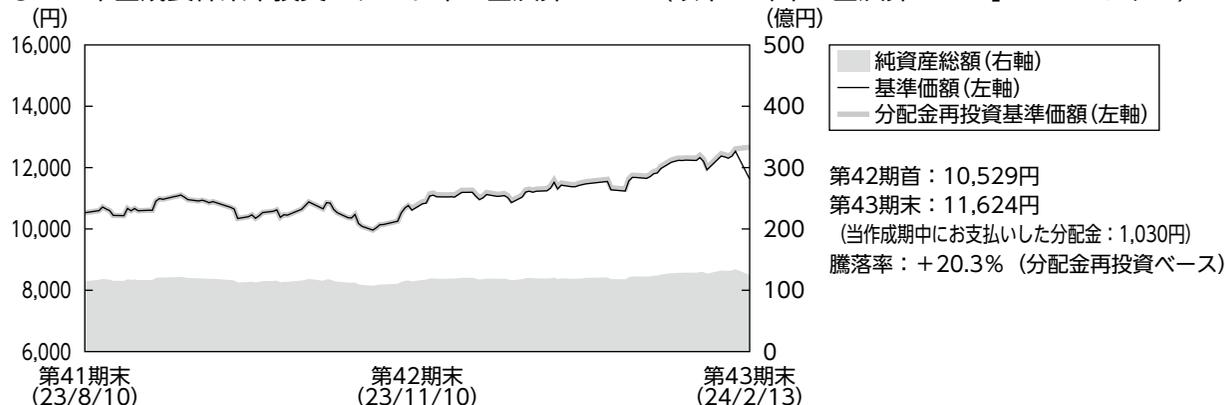
運用経過

■ 基準価額等の推移について（2023年8月11日～2024年2月13日）

○G S 米国成長株集中投資ファンド毎月決算コース（以下、「毎月決算コース」といいます。）



○G S 米国成長株集中投資ファンド年4回決算コース（以下、「年4回決算コース」といいます。）



(注1) 毎月決算コースおよび年4回決算コースの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

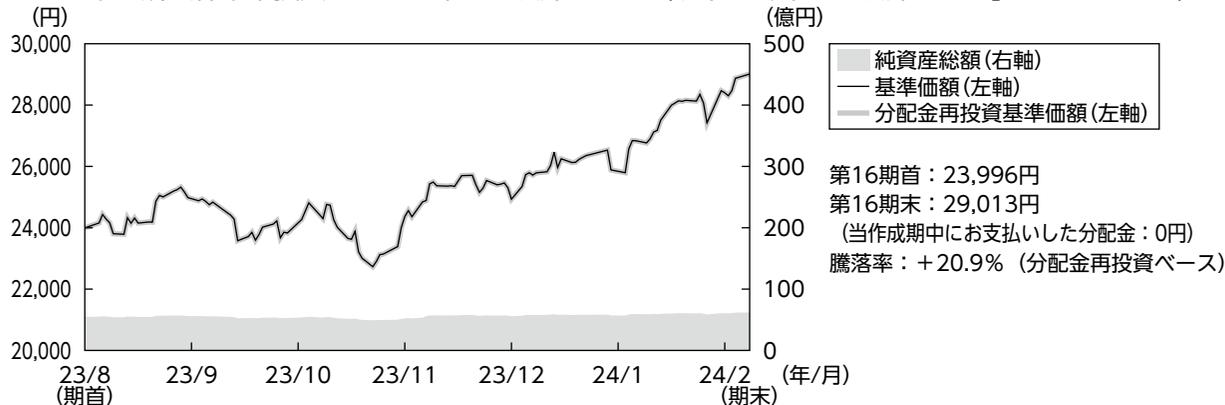
(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

(注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

○G S 米国成長株集中投資ファンド年 2 回決算コース（以下、「年 2 回決算コース」といいます。）



- (注 1) 年 2 回決算コースの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注 2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注 3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注 4) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注 5) 騰落率は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- 毎月決算コースの基準価額は、期首の11,081円から940円上昇し、期末には12,021円となりました。
- 年 4 回決算コースの基準価額は、期首の10,529円から1,095円上昇し、期末には11,624円となりました。
- 年 2 回決算コースの基準価額は、期首の23,996円から5,017円上昇し、期末には29,013円となりました。
- (以下、3 ファンドを総称して「本ファンド」といいます。)

上昇要因

イーライリリー（ヘルスケア）、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ（情報技術）、スノーフレイク（情報技術）などの株価が保有期間中に上昇したことが、基準価額の主な上昇要因となりました。

下落要因

アプティブ（一般消費財）、テキサス・インスツルメンツ（情報技術）などの株価が保有期間中に下落したことが、基準価額の主な下落要因となりました。また、毎月決算コースおよび年 4 回決算コースにおいては、分配金をお支払いしたことも、基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

○ 毎月決算コース

項目	第122期～第127期		項目の概要
	2023年8月11日～2024年2月13日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	115円 (57)	1.026% (0.506)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(57)	(0.506)	
(受託会社)	(2)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.008 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(1)	(0.004)	
合計	116	1.034	

期中の平均基準価額は11,216円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

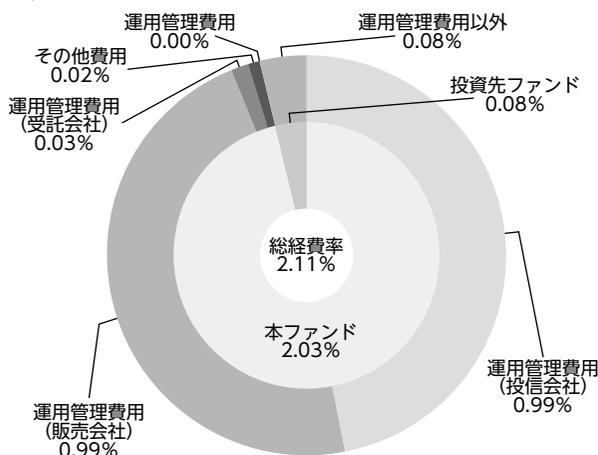
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.11%です。



総経費率 (①+②+③)	2.11%
①本ファンドの費用の比率	2.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○年4回決算コース

項目	第42期～第43期		項目の概要
	2023年8月11日～2024年2月13日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	113円 (56)	1.026% (0.506)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(56)	(0.506)	
(受託会社)	(2)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	2 (0)	0.014 (0.003)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	
(その他)	(0)	(0.004)	
合計	115	1.040	
期中の平均基準価額は11,042円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

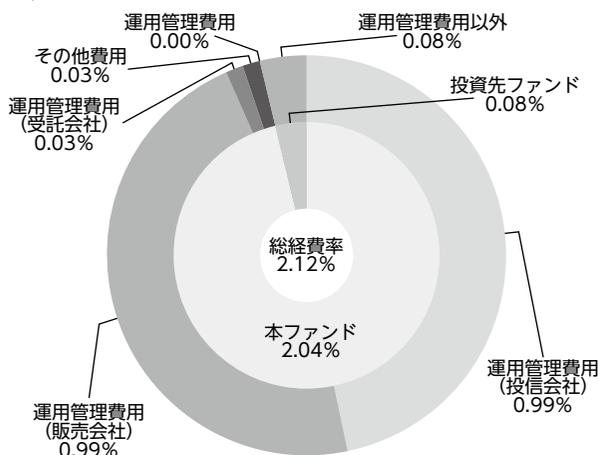
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.12%です。



総経費率 (①+②+③)	2.12%
①本ファンドの費用の比率	2.04%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○年2回決算コース

項目	当期		項目の概要
	2023年8月11日～2024年2月13日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	259円 (128)	1.026% (0.506)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(128)	(0.506)	
(受託会社)	(4)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	3 (2)	0.011 (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(1)	(0.002)	
合計	262	1.037	

期中の平均基準価額は25,282円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

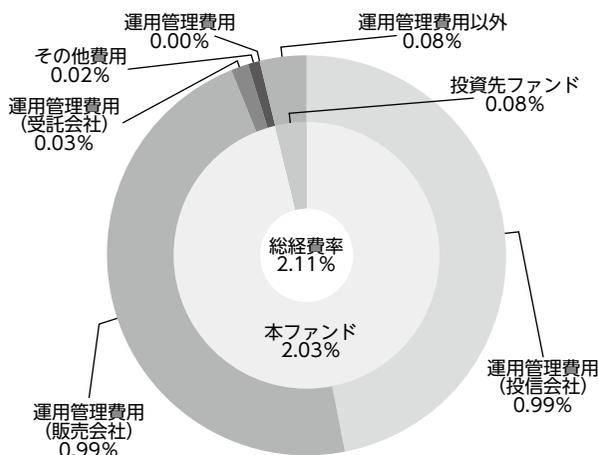
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



総経費率 (①+②+③)	2.11%
①本ファンドの費用の比率	2.03%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、本ファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

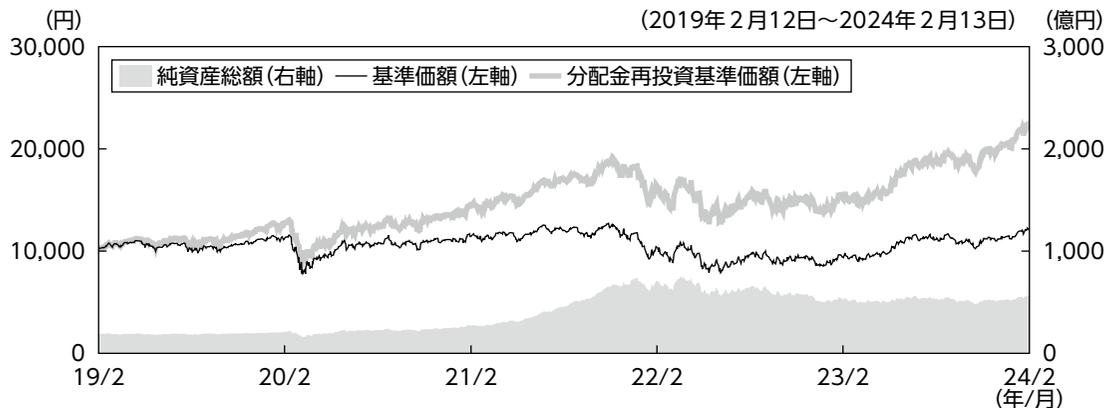
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

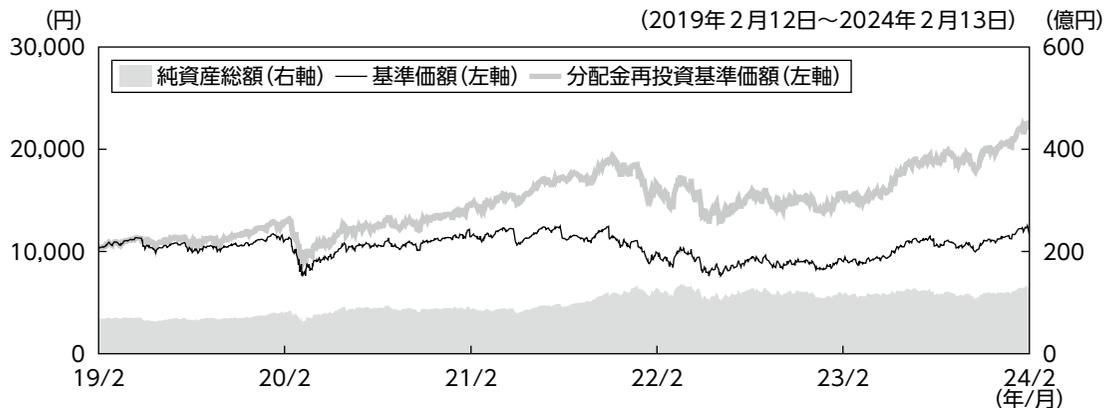
(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

○毎月決算コース



○年4回決算コース



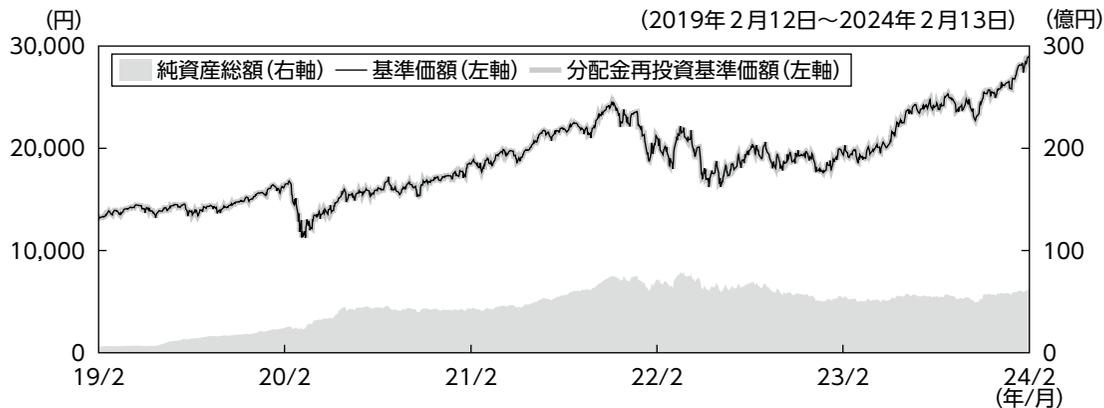
(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2019年2月12日の基準価額を起点として指数化しています。

(注4) 毎月決算コースおよび年4回決算コースの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

○年2回決算コース



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年2月12日の基準価額を起点として指数化しています。
- (注4) 年2回決算コースの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 最近5年間の年間騰落率

○ 毎月決算コース

	2019/2/12 決算日	2020/2/10 決算日	2021/2/10 決算日	2022/2/10 決算日	2023/2/10 決算日	2024/2/13 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,094	11,104	11,435	10,432	9,465	12,021
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,305	1,215	2,705	155	1,715
分配金再投資基準価額騰落率	—	24.2%	15.0%	14.6%	-7.8%	47.8%
純資産総額 (百万円)	18,689	20,501	27,076	71,183	53,248	55,743

○ 年4回決算コース

	2019/2/12 決算日	2020/2/10 決算日	2021/2/10 決算日	2022/2/10 決算日	2023/2/10 決算日	2024/2/13 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,200	10,931	11,446	9,958	9,110	11,624
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,605	1,005	3,285	60	1,665
分配金再投資基準価額騰落率	—	24.3%	14.4%	15.0%	-7.9%	47.5%
純資産総額 (百万円)	6,744	7,875	8,621	12,964	11,744	12,495

○ 年2回決算コース

	2019/2/12 決算日	2020/2/10 決算日	2021/2/10 決算日	2022/2/10 決算日	2023/2/10 決算日	2024/2/13 決算日
基準価額 (分配落) (円)	12,996	16,126	18,474	21,228	19,567	29,013
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	24.1%	14.6%	14.9%	-7.8%	48.3%
純資産総額 (百万円)	599	2,379	4,322	7,166	5,425	6,188

(注1) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。

(注3) 毎月決算コースおよび年4回決算コース、年2回決算コースの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 投資環境について

<米国株式市場>

当期の米国株式市場は大幅に上昇しました。

期の前半は、米国の強い経済指標が高金利政策の継続を示唆するとともに、地政学リスクやインフレ圧力の持続が懸念され、市場の不確実性が高まったことから軟調に推移しました。その後、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ終了観測が広がり、先行きの金利低下の見通しが投資家心理を支えました。また、生成AI（人工知能）関連のニュースが相次ぐなか、テクノロジーセクターをはじめ半導体などの関連銘柄への物色が広がり、株価を押し上げました。

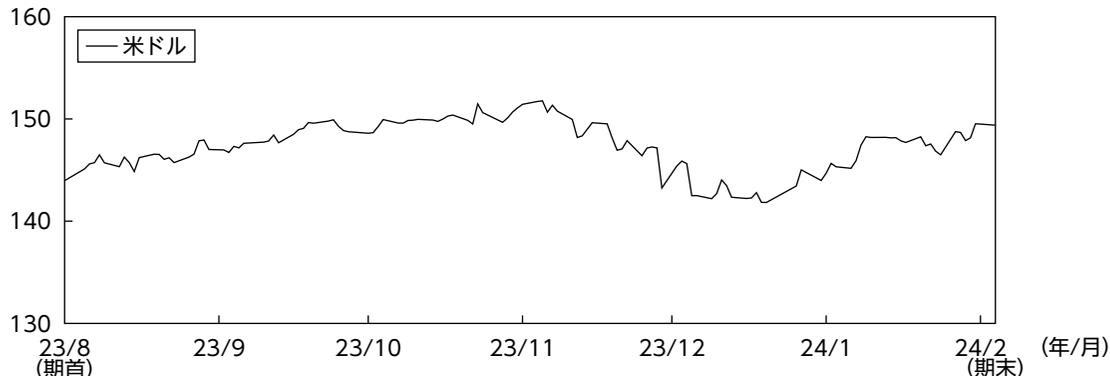
期の後半は、米国長期国債利回りの低下もあり大手テクノロジー株が株価の上昇を牽引する展開となりました。期間中に発表された四半期決算ではAI関連企業の好業績が目立ったほか、収益性が課題となっていた大手企業もコスト削減策が結実し、業績底入れが期待できる環境となったことから上昇しました。マクロ環境においては、引き続き堅調な経済指標を背景に早期利下げ期待の後退や米中関係悪化によるハイテク産業への規制強化、中国の景気減速懸念、米大統領選挙への不確実性などが懸念されましたが、AI発展の恩恵を受ける大手半導体を含むAI関連銘柄の好決算から楽観的な見方が広がり、米国株式市場は堅調に推移しました。

<外国為替市場>

当期の外国為替市場では、米ドルは円に対して上昇しました。

○為替レート（対円）の推移

（円/ドル）



出所：一般社団法人投資信託協会

<短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1 ヶ月は期末には5.3%となり前期末とほぼ変わらずとなりました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドはG S 米国フォーカス・グロースおよびゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてG S 米国フォーカス・グロースを概ね高位に組入れ、米国を中心とした企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。

・組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
G S 米国フォーカス・グロース* ¹	22.7%
ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド* ²	6.7%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- * 1 ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス（ケイマン諸島）ユニット・トラストーG S 米国フォーカス・グロース クラスI O
- * 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーーゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド X アクキュムレーション・クラス

<G S 米国フォーカス・グロース>

世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大から回復軌道をたどる一方、サプライチェーン問題や地政学リスクを発端とするインフレ懸念は根強く、世界各国・地域の金融当局は金融引き締め政策を続けています。継続的な利上げは調達環境を厳しくするとともに、人件費の上昇によってコストへの上昇圧力は依然として続いています。また、景気見通しが不確実性を増すなかで企業の収益性に対する要請は強まっています。

このような環境下では企業間の優劣はより鮮明になると考えられ、特に競合企業と比較して商品やサービスにおいて明確に差別化ができ、強固な財務体質や優秀な経営陣を有している一部の企業が、株式市場全体を上回るペースで収益を拡大させると予想されます。当戦略においては、長期的な視点に立ち、特にAI、クリーンエネルギー、ヘルスケア、リショアリング（生産拠点等の国内回帰）のテーマに着目しながら業界内において競争優位性を保って有利に事業を展開し、優れた利益成長が期待できる質の高い成長企業に投資することを目指しています。

ポートフォリオ・レビュー

医薬品の開発製造を手掛けるイーライリリーは、本ファンドのパフォーマンスにプラス寄与となりました。期間中に発表した四半期決算では、糖尿病治療薬マンジャロをドライバーに増収と利益成長が確認されました。また、2023年11月に承認され12月から販売が開始した肥満症治療薬ゼブバウンドも2024年2月の決算では全体の収益に貢献し、株価を大きく押し上げました。当社は、肥満症治療に対する需要のポテンシャルを有望視しており、なかでも同社は成長を享受できる製品やパイプラインを有しているとみて、強気な見方を維持しています。

自動車部品メーカーのアプティブは、本ファンドのパフォーマンスにマイナス寄与となりました。11月に発表された同社の四半期決算において、実績はEV（電気自動車）市場の逆風のなかでも底堅さが確認されましたが、翌四半期については慎重な業績見通しを示したことが嫌気されて、同社株は軟調に推移しました。当社では、長期的な投資の観点では有望ではあるものの、成長懸念やEV市場に対する警戒感が解消するまでは同社株の上値が重い展開となる可能性を考慮し、全売却に至りました。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、毎月決算コースは、第122期は200円、第123期は100円、第124期から第126期は各200円、第127期は300円としました。年4回決算コースは、第42期は65円、第43期は965円としました。年2回決算コースは、当期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○毎月決算コース

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項 目	第 122 期	第 123 期	第 124 期	第 125 期	第 126 期	第 127 期
	2023年8月11日 ~2023年9月11日	2023年9月12日 ~2023年10月10日	2023年10月11日 ~2023年11月10日	2023年11月11日 ~2023年12月11日	2023年12月12日 ~2024年1月10日	2024年1月11日 ~2024年2月13日
当期分配金	200	100	200	200	200	300
(対基準価額比率)	1.740	0.908	1.825	1.788	1.739	2.435
当期の収益	200	13	21	165	200	300
当期の収益以外	—	86	178	34	—	—
翌期繰越分配対象額	2,579	2,493	2,314	2,280	2,592	3,300

○年4回決算コース

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項 目	第 42 期	第 43 期
	2023年8月11日~2023年11月10日	2023年11月11日~2024年2月13日
当期分配金	65	965
(対基準価額比率)	0.609	7.665
当期の収益	65	964
当期の収益以外	—	0
翌期繰越分配対象額	1,365	2,297

○年2回決算コース

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第16期
	2023年8月11日~2024年2月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	19,013

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も、毎月決算コース、年4回決算コース、年2回決算コースともに引き続きG S 米国フォーカス・グロースを高位に組入れ、米国を中心とした企業の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

<G S 米国フォーカス・グロース>

前期間は、F R Bによる急ピッチの利上げを背景にテクノロジーセクターを中心に懸念が広がったものの、力強い米国経済や米企業の底堅い業績に支えられ、米国株式市場は上昇が続きました。足元では、米国株式市場全体のバリュエーションが過去平均対比で拡大基調にあることや、一部の大型銘柄が市場全体を牽引している状況から、モメンタムが維持される可能性を意識しつつ、企業の製品・サービスの質や成長見通しに応じた銘柄選別が進むと想定します。

A I 関連においてはプロダクト開発や業績のヘッドラインに伴って短期的にボラティリティが高まる局面が想定されるものの、関連市場の成長ポテンシャルや依然として成長サイクルの初期段階にあることから、今後も中長期的な成長が期待されるテーマだと考えます。リスク要因としては、利下げが織り込まれる環境下でインフレの再燃などにより追加利上げが必要になる場合、A I 開発の進捗が想定より遅くなる、もしくは展開されるサービスが期待を下回る場合などは、相場の方向性が変わる局面になると想定されます。

また、米中関係の悪化、ロシア・ウクライナ、イスラエルに関する地政学リスクの顕在化などは懸念材料になると捉えていますが、当戦略においては一貫した投資哲学のもと市場の短期的な変動によって運用方針が左右されることはなく、引き続き強固なブランド力と経験豊富な優れた経営陣を有した優良な成長企業を選別し投資していきます。

今後も引き続き運用の基本方針に基づき運用を行います。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

(上記見通しは2024年2月13日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

お知らせ

約款変更について

- ・毎月決算コース

指定投資信託証券における実質的なデリバティブ取引の利用目的を明確化しました。

- ・年4回決算コース、年2回決算コース

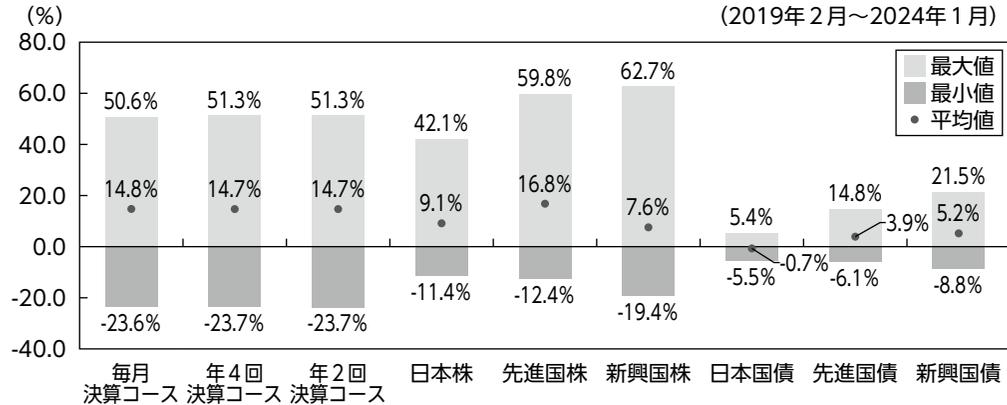
2024年から実施されるNISA（少額投資非課税制度）の適用を明確にする目的で、指定投資信託証券における実質的なデリバティブ取引の利用目的を明確化しました。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限
運用方針	長期にわたり優れた利益成長が期待でき、本来の企業価値に対して現在の株価が割安であると判断する比較的少数の米国を中心とした企業の株式に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、投資元本の長期的な成長をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス（ケイマン諸島）ユニット・トラスト ①G S 米国フォーカス・グロース ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS \$ リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	米国の株式
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月決算コースは毎月10日、年4回決算コースは毎年2月、5月、8月、11月の各10日、年2回決算コースは毎年2月10日および8月10日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2019年2月から2024年1月の5年間にわたる1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

□東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者 (以下総称して「MSCI当事者」といいます) は、MSCIの情報について一切の保証 (獨創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません) を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害 (逸失利益を含みます) およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容 (2024年2月13日現在)

<毎月決算コース>

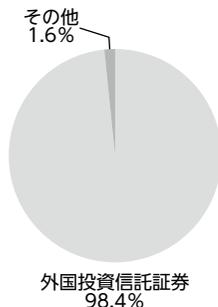
○組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

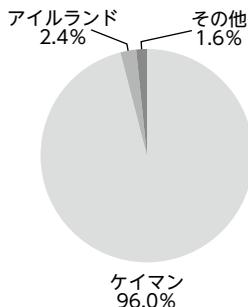
ファンド名	比率
G S 米国フォーカス・グロース	96.0%
ゴールドマン・サックス・US \$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.4%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

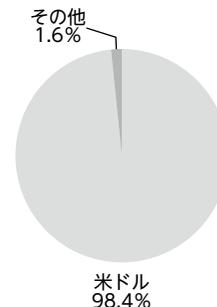
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記の比率は全て毎月決算コースの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

<年4回決算コース>

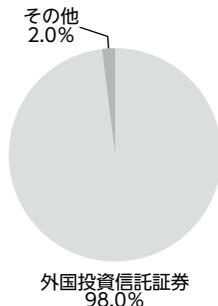
○組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

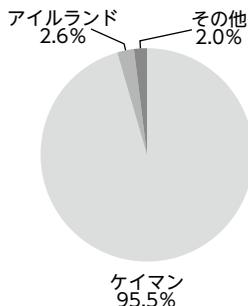
ファンド名	比率
G S 米国フォーカス・グロース	95.5%
ゴールドマン・サックス・US \$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.6%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

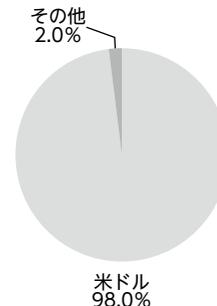
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記の比率は全て年4回決算コースの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

<年2回決算コース>

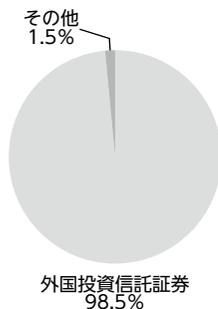
○組入上位ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

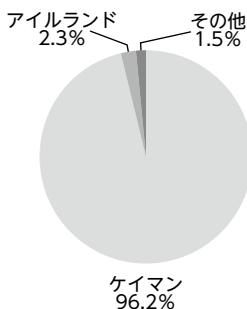
ファンド名	比率
G S米国フォーカス・グロース	96.2%
ゴールドマン・サックス・US \$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.3%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

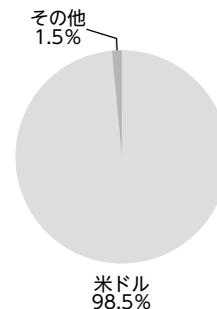
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記の比率は全て年2回決算コースの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とまらない場合があります。

(注2) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

(注3) 通貨別配分は、資産別配分における発行通貨にて表示しています。

■ 純資産等

○ 毎月決算コース

項目	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末
	2023年9月11日	2023年10月10日	2023年11月10日	2023年12月11日	2024年1月10日	2024年2月13日
純資産総額	53,297,557,367円	51,385,422,854円	50,130,451,330円	50,813,175,320円	52,139,742,969円	55,743,085,678円
受益権総口数	47,190,516,741口	47,061,400,211口	46,601,454,877口	46,243,758,375口	46,129,325,113口	46,370,459,316口
1万口当たり基準価額	11,294円	10,919円	10,757円	10,988円	11,303円	12,021円

(注) 当作成期首元本額は47,737,759,242円、当作成期間（第122期～第127期）中において、追加設定元本額は3,885,531,258円、同解約元本額は5,252,831,184円です。

○ 年4回決算コース

項目	第42期末	第43期末
	2023年11月10日	2024年2月13日
純資産総額	11,439,619,477円	12,495,928,695円
受益権総口数	10,778,759,646口	10,750,052,678口
1万口当たり基準価額	10,613円	11,624円

(注) 当作成期首元本額は10,883,644,586円、当作成期間（第42期～第43期）中において、追加設定元本額は1,212,549,391円、同解約元本額は1,346,141,299円です。

○ 年2回決算コース

項目	第16期末
	2024年2月13日
純資産総額	6,188,056,360円
受益権総口数	2,132,825,405口
1万口当たり基準価額	29,013円

(注) 期首元本額は2,282,351,875円、当作成期間中において、追加設定元本額は291,892,231円、同解約元本額は441,418,701円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<G S 米国フォーカス・グロース> (2022年12月31日現在)

* 2024年2月13日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○ 純資産価格の推移について (2022年1月1日~2022年12月31日)



* クラス I O の純資産価格

○ 費用明細 (2022年12月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

運用費用	2,288,445
投資顧問報酬	1,757,888
販売報酬	349,631
管理事務代行報酬	88,348
支託報酬	68,239
保管費用	62,043
代行協会員報酬	49,539
監査報酬	32,679
管理報酬	30,264
名義書換事務代行報酬	25,748
印刷費用	20,000
投資主サービス報酬	17,896
弁護士報酬	655
支払利息	9,688
雑費	
運用費用合計	4,801,063

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○ 組入上位10銘柄

銘柄	業種*	比率
1 イーライリリー	ヘルスケア	7.4%
2 ロス・ストアーズ	一般消費財・サービス	7.0%
3 ナイキ	一般消費財・サービス	6.9%
4 ポストン・サイエンティフィック	ヘルスケア	6.8%
5 エヌビディア	情報技術	6.5%
6 アクセンチュア	情報技術	6.2%
7 シャーウィン・ウィリアムズ	素材	6.1%
8 インシュレット	ヘルスケア	5.2%

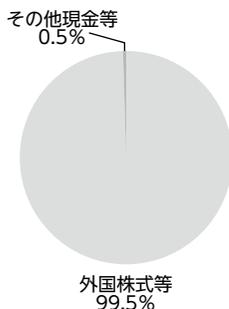
(組入銘柄数: 20銘柄)

銘柄	業種*	比率
9 オールド・ドミニオン・フレイト・ライン	資本財・サービス	4.9%
10 K L A コーポレーション	情報技術	4.9%

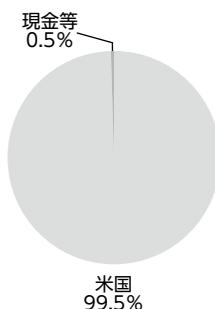
* 業種は、Global Industry Classification Standard (GICS®) (世界産業分類基準) のセクター分類を使用しています。

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

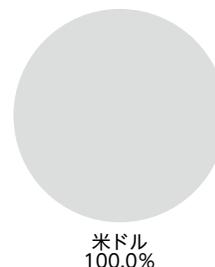
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

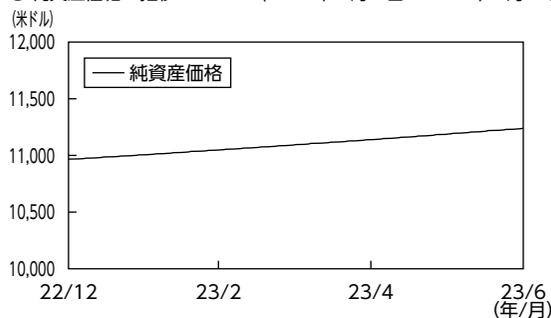
(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2023年6月30日現在)

* 2024年2月13日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格の推移について (2023年1月1日~2023年6月30日)



* X アキュムレーション・クラスの純資産価格

○費用明細 (2023年6月30日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
投資顧問報酬	42,361,347
管理会社報酬	2,176,932
管理事務代行報酬	698,330
保管費用	908,770
販売報酬	1,654,750
名義書換事務代行報酬	280,520
監査報酬	8,151
取締役報酬	6,047
弁護士報酬	20,925
保険費用	82,131
印刷費用	16,472
その他費用	264,444
費用合計	48,478,819
投資顧問報酬調整額	(4,384,235)
運用費用合計	44,094,584

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

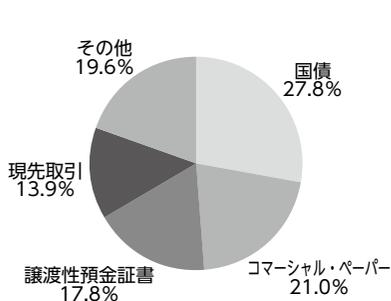
順位	銘柄	種別	比率
1	State Street Bank And Trust Co Repo	現先取引	5.2%
2	United States Treasury Floating Rate Note	国債	3.8%
3	Wells Fargo Securities LLC Repo	現先取引	3.1%
4	United States Treasury Bill	国債	3.0%
5	BofA Securities Repo	現先取引	2.6%
6	United States Treasury Bill	国債	1.9%

(組入銘柄数: 174銘柄)

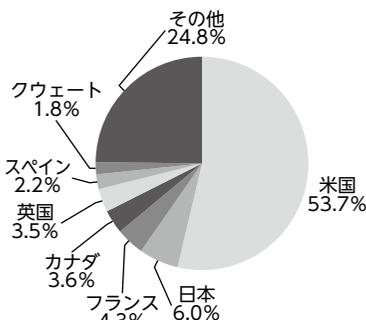
順位	銘柄	種別	比率
7	National Bank of Kuwait	譲渡性預金証書	1.8%
8	United States Treasury Bill	国債	1.8%
9	United States Treasury Bill	国債	1.7%
10	Federal Home Loan Banks	国債	1.7%

(注) 組入比率は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

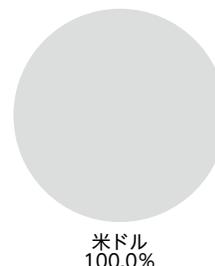
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 配分は当外国投資信託証券の全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分は、国・地域別による配分です。

(注3) キャッシュ部分については、「その他」に含めています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。